

顧客ニーズに柔軟に対応し、あらゆる利用環境に適応するバルブの専門メーカー

主に工業用や船舶用及び水処理等の各種バルブの製造・販売を行う。バタフライバルブを中心に、ナイフゲートバルブやピンチバルブ等バルブ専門メーカーとして業界の先端を走る製品開発で存在感を示してきた。高温、低温、高圧、水、化学物質、ガス等あらゆる利用環境、大型から小型まで幅広いサイズに対応する。

設計から製造まで一貫した効率生産システムのもと高機能、高品質、高信頼性のあるバルブを製造し、顧客に支持されている。

● 所在地	滋賀県蒲生郡日野町大谷446-1	● 設立	1902年
● 電話／FAX	0748-52-2131／0748-52-8156	● 資本金	4億9,966万円
● URL	http://www.okm-net.jp/	● 従業員数	214人
● 代表者	代表取締役社長 村井 米男		



日本・マレーシア・中国の3拠点から世界に向けて商品を供給

1988年に他社に先駆けマレーシアに、2003年には中国にもバルブ生産拠点を設立。両拠点ともに、中国や東南アジアの経済成長を背景とした船舶や各種インフラ等のバルブ需要を取り込み、順調に成長を続けている。

そして日本、マレーシア、中国の生産拠点が連携することでベストバランスを保ちながら、世界中に商品を供給する体制を確立。近年の環境規制で需要が急拡大している船舶排ガス用バルブの製造で、世界シェアトップクラスのグローバルニッチトップ企業へ成長した。



船舶排ガス用バルブ

「地域未来牽引企業」に選定され、地域の経済成長を牽引

1902年、前挽き鋸の製造から創業。以来一貫して本社、国内工場を創業地である滋賀県に置く。国際的な船舶の排ガス規制強化により需要が増加している船舶排ガス用バルブを生産する最新工場を創業の地である東近江市に建設。2017年に経済産業省より「地域未来牽引企業」に選定され、今後も新工場建設に伴う雇用拡大等、更なる地域活性化に貢献する。バルブの製造・販売を通じて、モノづくり県である滋賀県の地域経済を牽引することが期待されている。



2019年4月に稼働した滋賀東近江工場

顧客ニーズに柔軟に対応したカスタマイズ製品開発に注力

「お客様に喜ばれる商品創り」という品質方針のもと、顧客からの相談や要望に柔軟に対応するため、従業員の3分の1を営業部門に配置し、カスタマイズ製品の開発に注力している。また電子制御により流量コントロールを可能とする製品を開発する等、社はに「独創的な技術」を掲げ、長年培った技術力を背景に、どこにもないバルブ供給を実現できる強みを持っている。なお、カスタマイズ製品のパーツの組み合わせは10万種類を超えるが、独自の生産管理システムを構築し、納期の短縮化も図っている。



製品のライフケスト